

取組メニュー

現場マネジメントの工夫

施工合理化技術

週休2日促進工事

工期算定プログラム

3D-CAD

【取組の現状】

現場マネジメントの工夫

■ASP（情報共有システム）の活用

工事中に発注者と受注者の間で交わす施工計画書や施工図等をインターネット上で共有することで、工事帳票の処理や意思決定の迅速化など、作業の効率化を確認。

■工事関係図書の効率化

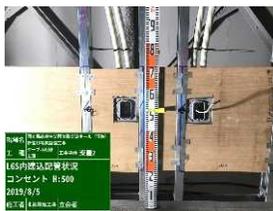
受注者へ提出を求める工事関係書類を明確化することにより、契約から引渡しまでの発注者の監督・検査及び受注者の業務効率化に取組。

週休2日促進工事

- 工事現場の「4週8休の現場閉所」に取り組むと共に、アンケート調査により週休2日の課題を抽出し、その改善方策を検討。その結果、4週8休を実現。

施工合理化技術

- デジタル工事写真の黒板情報電子化
撮影時に黒板情報が入力されることで、撮影の省力化のほか、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止等の効果を確認。



- 3次元計測システムによる鉄骨建入れ管理
通常2人一組で行う作業を1人で行うことによる計測作業の省力化のほか、データ管理の効率化、高所作業削減の効果を確認。

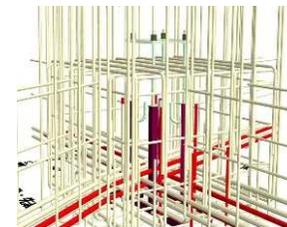


工期算定プログラム

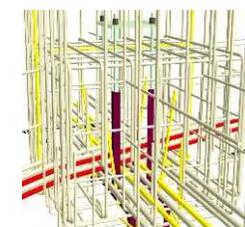
- 概成工期や各工程のベンチマークの設定など、週休2日の実施に係る検討に活用。

3D-CAD

- 3D-CADを用いた鉄骨等の干渉チェック
鉄骨アンカーボルトと鉄筋の干渉を3D-CADを用いて事前検証する。3D-CADを活用して躯体や鉄骨の問題点を早期に抽出し、手戻りが少ない効率的な施工を実現。同様に鉄骨と機械のダクトの干渉にも活用し修まりの事前検証を実施。



【修正前】



【修正後】

【関係者の声】

受注者（伊藤組土建(株)、北海電気工事(株)、三建設備工業(株)）

現場マネジメントの工夫

ASPにより関係者が施工計画書や施工図などを電子上で共有することにより、現場で生じた問題点の早期解決や、決裁期間の短縮が実現した。

施工合理化技術

週休2日促進工事

施工合理化技術を積極的に取り入れることで、作業の効率化を図ることができた。その結果、週休2日に取り組むことが可能となり、下請業者を含めた関係者全員が、働き方改革に対する意識を高めることができた。

発注者（北海道開発局）

現場マネジメントの工夫

ASPにより設計担当者・監督職員及び監理業務受注者が迅速な情報共有を行うことができ、必要な情報が常に最新のデータで確認ができるので手戻り等がなくスムーズに工事が進められた。

週休2日促進工事

受注者が休暇を確保できるよう早めの現場調整を行う意識が高まった。事前の調整には発注者だけでなく関係機関等からも積極的に協力を受け実施に向け取組んだ。